



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 共立メンテナンス
 コード番号 9616 URL <http://www.kyoritsugroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐藤 充孝
 (氏名) 上田 卓味

TEL 03-5295-7778

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,957	10.1	1,304	21.5	966	37.0	416	23.7
24年3月期第1四半期	20,843	△1.8	1,073	7.6	705	3.4	336	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 480百万円 (44.8%) 24年3月期第1四半期 332百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	29.48	—
24年3月期第1四半期	23.41	19.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	119,111	31,764	26.7	2,250.91
24年3月期	125,649	31,551	25.1	2,235.83

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 31,764百万円 24年3月期 31,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	9.5	3,380	0.6	2,590	1.0	1,260	9.8	89.29
通期	100,000	9.7	6,130	1.9	4,850	5.4	2,390	0.6	169.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	15,125,582 株	24年3月期	15,125,582 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,013,904 株	24年3月期	1,013,844 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,111,689 株	24年3月期1Q	14,364,767 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として緩やかに回復しつつありますが、電力供給の制約や長期化する円高、欧州財政危機など不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当第1四半期連結累計期間は、主力事業である寮事業において、期初稼働率96.5%（前年比1.2ポイント増）と好調にスタートし、また、ホテル事業につきましても、ドーマーイン（ビジネスホテル）事業、リゾート（リゾートホテル）事業共に、前年同期を上回る稼働率にて好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高22,957百万円（前年同期比10.1%増）となり、営業利益1,304百万円（前年同期比21.5%増）、経常利益966百万円（前年同期比37.0%増）、四半期純利益416百万円（前年同期比23.7%増）となり、増収増益基調にて推移いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①寮事業

寮事業では、期初稼働率96.5%（前年比1.2ポイント増）と前期を上回ってスタートし、堅調に推移しております。しかしながら、当第1四半期連結累計期間においては、前年同期に比べ新入寮生の3月早期入寮の増加があり、契約金等の売上が期間比較にて減少しております。この結果、寮事業全体での6月末現在の稼働契約数は30,062名（前年同期に比べ857名増）となり、売上高10,406百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益1,637百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

②ホテル事業

ドーマーイン事業では、当第1四半期連結累計期間に『ドーマーインPREMIUM渋谷神宮前』『天然温泉紀州の湯 ドーマーインPREMIUM和歌山』『天然温泉 霧桜の湯 ドーマーイン鹿児島』の3事業所を新規オープンいたしました。また、全体の稼働率も前期に引続き、前年同期を上回って好調に推移しております。さらには、JCSI（日本版顧客満足度指数）のビジネスホテル部門で、顧客満足度1位を獲得するなど、依然高いご評価を頂いております。

リゾート事業では、『モルデンの湯 ラビスタ安比高原』を新規オープンし、既存事業所においても、震災影響を受けた前期を大幅に上回るのみならず、前々期をも上回る稼働にて推移いたしました。

この結果、売上高8,640百万円（前年同期比22.8%増）、営業利益251百万円（前年同期に比べ544百万円増益）となり、本格的なリゾートシーズンを前に大幅な増益基調となりました。

③総合ビルマネジメント事業

総合ビルマネジメント事業では、建設施工工事部門において受注の増加に伴い増収となりましたが、ビル賃貸部門では、前年同期に比べ大口解約発生という厳しい環境にて推移いたしました。この結果、売上高3,089百万円（前年同期比6.6%増）、営業損失13百万円（前年同期に比べ16百万円減益）となりました。

④フーズ事業

フーズ事業では、個人消費環境の低迷等により厳しい事業環境が継続しております。この結果、売上高1,159百万円（前年同期比18.3%増）、営業損失36百万円（前年同期に比べ0百万円減益）となりました。

⑤デベロップメント事業

デベロップメント事業では、開発物件が下半期に傾斜したことに伴い前年同期に比べ、当第1四半期連結累計期間では、竣工・引渡しが減少いたしました。この結果、売上高は570百万円（前年同期比52.1%減）となり、営業利益は14百万円（前年同期比36.7%減）となりました。

⑥その他事業

その他事業は、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業であります。これらの事業の合計は、売上高1,298百万円（前年同期比40.6%増）、営業損失47百万円（前年同期に比べ5百万円増益）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、119,111百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,538百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金の減少などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、87,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,750百万円の減少となりました。主な要因は、前受金、長期借入金の減少などによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、31,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

この結果、自己資本比率は26.7%となり、前連結会計年度末に比べ1.6ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ4百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,342	11,251
受取手形及び売掛金	3,790	3,668
仕掛販売用不動産	1,746	1,978
未成工事支出金	87	39
その他	5,314	5,043
貸倒引当金	△46	△43
流動資産合計	28,234	21,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,423	30,091
土地	23,852	24,046
その他(純額)	9,378	9,139
有形固定資産合計	63,654	63,278
無形固定資産	3,663	3,647
投資その他の資産		
投資有価証券	5,687	5,645
差入保証金	9,602	9,736
敷金	8,484	8,579
その他	6,421	6,384
貸倒引当金	△193	△189
投資その他の資産合計	30,001	30,156
固定資産合計	97,319	97,082
繰延資産	95	91
資産合計	125,649	119,111

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,402	2,598
短期借入金	15,596	16,101
1年内償還予定の社債	1,520	1,520
未払法人税等	1,600	469
前受金	10,738	8,767
賞与引当金	840	231
役員賞与引当金	179	47
完成工事補償引当金	10	10
その他	5,072	5,097
流動負債合計	38,961	34,843
固定負債		
社債	8,225	7,775
長期借入金	40,100	38,195
退職給付引当金	1,183	1,218
役員退職慰労引当金	306	307
その他	5,319	5,008
固定負債合計	55,135	52,503
負債合計	94,097	87,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,136	5,136
資本剰余金	5,943	5,943
利益剰余金	23,042	23,189
自己株式	△1,809	△1,809
株主資本合計	32,312	32,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△761	△696
その他の包括利益累計額合計	△761	△696
純資産合計	31,551	31,764
負債純資産合計	125,649	119,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	20,843	22,957
売上原価	16,903	18,396
売上総利益	3,940	4,560
販売費及び一般管理費	2,867	3,256
営業利益	1,073	1,304
営業外収益		
受取利息	28	25
受取配当金	17	16
解約保証金収入	15	9
その他	36	27
営業外収益合計	98	78
営業外費用		
支払利息	368	323
その他	98	93
営業外費用合計	466	416
経常利益	705	966
特別利益		
固定資産売却益	124	—
特別利益合計	124	—
特別損失		
災害による損失	56	—
投資有価証券評価損	3	139
特別損失合計	59	139
税金等調整前四半期純利益	770	826
法人税等	433	410
少数株主損益調整前四半期純利益	336	416
少数株主利益	0	—
四半期純利益	336	416

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	336	416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	64
その他の包括利益合計	△4	64
四半期包括利益	332	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	332	480
少数株主に係る四半期包括利益	0	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,609	7,012	1,785	331	274	20,014	829	20,843	—	20,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	21	1,111	648	917	2,729	94	2,823	△2,823	—
計	10,640	7,034	2,896	979	1,192	22,743	923	23,667	△2,823	20,843
セグメント利益 又は損失(△)	1,842	△292	2	△35	22	1,538	△53	1,485	△412	1,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△412百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△412百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	寮	ホテル	総合ビル マネジメ ント	フーズ	デベロッ プメント	計				
売上高										
外部顧客への売上高	10,375	8,618	1,883	386	499	21,764	1,193	22,957	—	22,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	22	1,205	772	71	2,102	104	2,207	△2,207	—
計	10,406	8,640	3,089	1,159	570	23,866	1,298	25,164	△2,207	22,957
セグメント利益 又は損失（△）	1,637	251	△13	△36	14	1,852	△47	1,804	△500	1,304

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルネスライフ事業（高齢者向け住宅の管理運営事業）、PKP事業（自治体向け業務受託事業）、単身生活者支援事業及び保険代理店事業、総合人材サービス事業、融資事業及び事務代行業、その他の付帯事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△500百万円には、セグメント間取引消去△8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△492百万円が含まれております。全社費用は主に本社の財務経理部等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。